



カーボンニュートラルに向けた 取り組みについて



TONAMI
More than Transportation

トナミ運輸株式会社

2022年9月8日





会社概要

トナミ運輸株式会社

- トナミホールディングス(東証プライム市場)グループの中核事業会社
- 企業間輸送をメインとした特別積み合わせ輸送が主力事業
- 1943年設立、従業員数6,750名(正規雇用者のみ、日本国内グループ計)
- 車両台数4,919台(日本国内グループ計(トナミ運輸：3,175台、その他：1,744台))





経営計画におけるCNの位置づけ

トナミホールディングスグループ経営計画 第22次中期経営計画

(2021年4月1日~2024年3月31日)

スローガン

TONAMI New Plan 2023

基 | 本 | 方 | 針

DXによる業務効率化を更に推進し生産性を上げ、
物流サービスと輸送事業の連携強化により、
新たな社会構造の中で中長期的な成長を継続する

重点戦略

- ▶ 特別積合せの複合ビジネスとしての戦略展開によるロジスティクスビジネスの成長
- ▶ TDXによる業務効率の向上(TONAMI デジタルトランスフォーメーション)
- ▶ 多様な人材を採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築
- ▶ 自己資本比率の向上と安定した資本政策
- ▶ 経営品質(CSR・BCP)と成長性(ESG)評価や社会的認知度の向上



経営計画におけるCNの位置づけ

経営品質の向上

経営品質 (CSR・BCP) と 成長性 (ESG) 評価や社会的認知度の向上

トナミホールディングスグループCSR重要課題

安全

輸送の安全確保
物流品質向上

環境

環境マネジメント
地球温暖化防止・
大気汚染防止
リサイクルの推進

社会

地域社会との
コミュニケーション
働きやすい
職場づくり

ガバナンス

コーポレート
ガバナンスの強化
コンプライアンスの
推進

関連するSDGs



経営品質向上の一貫としてのカーボンニュートラルへの取り組み



次世代車両への対応

(1) ハイブリッドトラックの導入

輸送に関わるNOx、PMなどの大気汚染物質削減を図るため、環境に配慮したトラックを導入として、ハイブリッドトラックの導入を進めております。

導入時期	導入台数
2019年度	16台
2020年度	54台
2021年度	30台

*トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国の合計



ハイブリッド自動車



次世代車両への対応

(2)EVトラックの導入

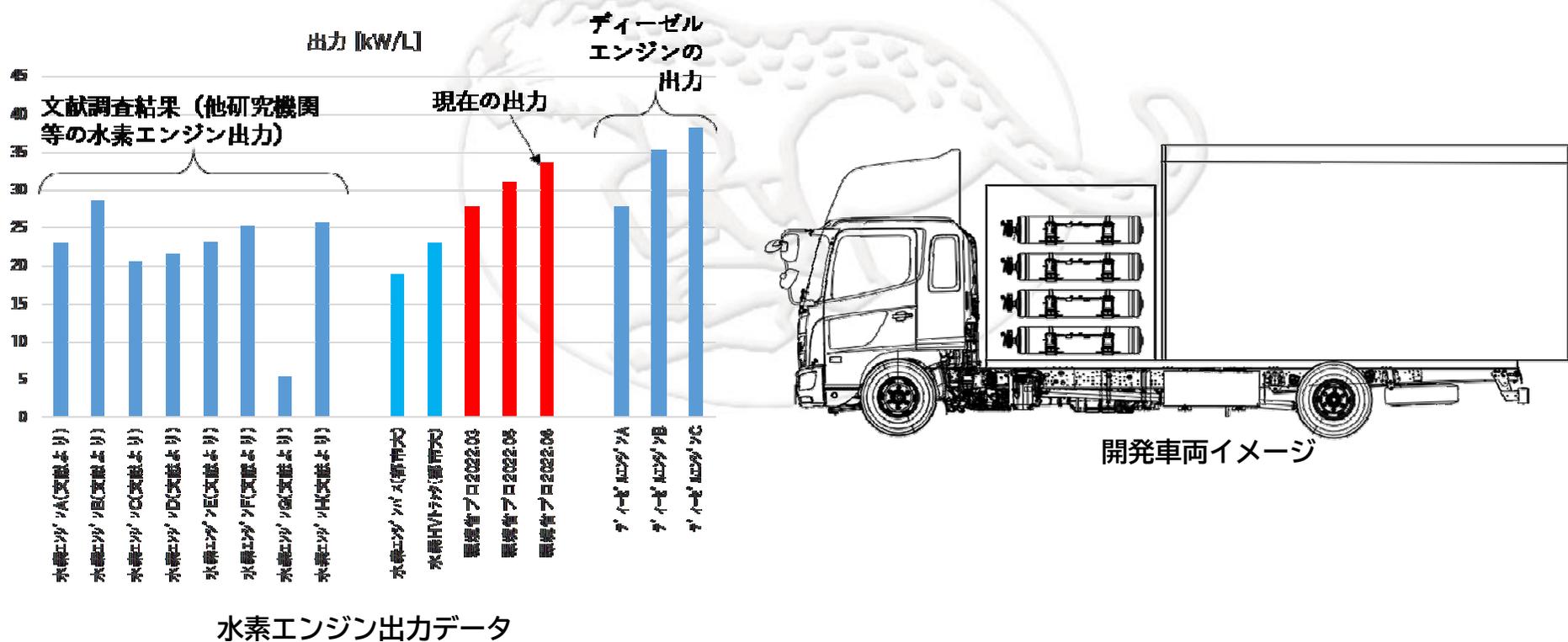
2022年3月にEVトラック2台を富山県内に導入し、寒冷地での集配業務を通して、走行性能を確認中



次世代車両への対応

(3)水素エンジントラックの開発実証

水素内燃機関活用による重量車等脱炭素化実証事業の実施 ※環境省委託事業
 2022年8月には水素エンジンの軽油エンジン並みの出力を達成
 2023年に富山県内で実証運行予定





次世代燃料への対応

リニューアブルディーゼルを利用した拠点間幹線輸送

特積み事業者としては日本初の拠点間幹線輸送で廃食油等由来のリニューアブルディーゼル(軽油代替燃料)を2022年8月より利用開始



CO2排出量0
LCA軽油比70-90%削減

100%

サステナブルな原料
循環型社会実現



Just Drop in and Go !
初期投資不要
明日からスタート可能



特殊なインフラは必要なし